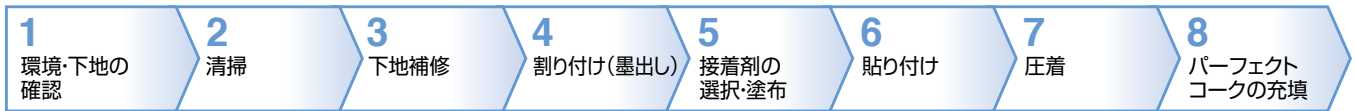


ラウンドエッジ 施工・メンテナンス説明

■基本手順



■施工について

1.環境・下地の確認

砂や塵、埃などを除去し、適切な下地処理を行い、平滑でよく乾燥していることを確認してください。

貼り替えの場合、下地に残った接着剤をきれいに除去してください。下地に不陸がある場合は、フロアセメント(BB-492・493)にて平滑にしてください。

2.清掃

床の汚れ・ゴミ・塵などは接着剤の効力を弱め、クレームの原因に繋がるため、清掃をしっかりと行ってください。

3.下地補修

下地の確認を行った時点で、下地に亀裂が見られたり、平滑でないときなど、床用の下地調整材で補修してください。

4.割り付け(墨出し)

基準線を中心にして左右対称になるよう墨を打ってください。壁際には商品サイズの半分以下の端物が入ることは、できる限り避けてください。そういった場合は基準線を中心からずらしていただく事をおすすめします。

5.接着剤の選択・塗布

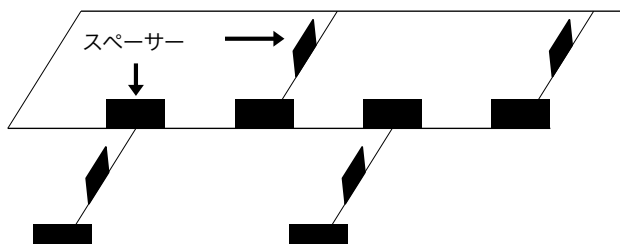
一般工法:PC-2、AR

耐湿工法:EP-300、WPX、WG

接着剤塗布時は、接着剤指定のヘラを使用してください。

6.貼り付け

ラウンドエッジの素材感を活かし、長く美観を維持するためにパーフェクトコーク(BB-591・593・599)を使用した目地剤施工をしてください。同梱のスペーサー(1.6mm厚)を使用すると、目地の幅が等間隔となり、施工中のズレの防止にも役立ちます。



設計上やむを得ない事情により、突きつけ施工をする場合、パーフェクトシームジェルチューブ入り(BB-394)で止水処理してください。目地剤施工を行わなかった場合、目地から水分が浸入し、接着阻害による下地からのタイルの剥離、タイルの層間での剥離が発生する場合があります。

デザイン貼りなどで、タイルをカットしての突き合わせがある場合、パーフェクトシームで剥離防止処理を行ってください。

壁面でのカットによる断面処理は、壁に対し2~3mmの隙間をとってパーフェクトコークを充填してください。市販のシリコンを使用する場合は隙間なしで充填してください。

7.圧着

ボンローラーでの圧着時にスペーサーを外してください。

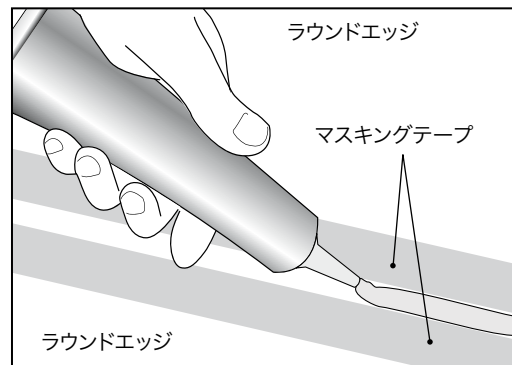
スペーサーを外すタイミングが早いと、タイルがずれてしまう場合がありますので注意してください。

8.パーフェクトコークの充填

パーフェクトコークを充填する時は、マスキングテープでタイルを保護すると、はみ出しによる汚れを防げます。

マスキングテープを使用しない場合、パーフェクトコークのはみ出しは、乾燥する前にきれいな濡れ雑巾などでふき取ってください。丸みのあるヘラや、指を保護した状態でパーフェクトコーク表面をなぞるときれいに仕上がります。

パーフェクトコークの施工可能㎡数は1本当たり4.5㎡が目安です。



■メンテナンスについて

1.クリーニング

モップを使用する際は、清水を染みこませ固く絞り、水分の使用を極力控えてください。

2.ワックス

クリーニングを行った上で、定期的にワックスの塗布を行ってください。

3.ポリッシャー

局所的な摩耗を避けるため、目が粗い黒パッドの使用はお避けください。ブラシは目地剤を傷めることがあるためお避けください。

4.剥離洗浄

ワックス除去後すぐに、固く絞ったモップでリムーバーを拭き取り、残留が無いようにしてください。

5.目地剤

目地剤が汚れたり、欠落した場合、汚れを取り除き再充填してください。

■注意事項

施工場所

トイレなど常に水がかかる場所や、キャスト付き重量物が移動する場所での使用はお避けください。

保管場所

高温(50℃以上)となる環境での保管はお避けください。

施工前の商品養生

箱から出して積み重ね(最大10ケースまで)、平坦な場所で24時間以上室温になじませてください。

施工環境

施工環境温度は15℃以上を保ってください。

パーフェクトコークの乾燥

パーフェクトコークは乾燥するまで最低24時間かかります。その間、歩行を制限するか、通気性のあるシートなどで汚れを防いでください。